

遊休農地を活用してサツマイモ栽培

農福連携で干し芋加工スタート



J Aあいち三河管内である岡崎市と幸田町の遊休農地を活用し、サツマイモを栽培する「おかざき幸田さつまいも☆プロジェクト」で、12月下旬から干し芋の加工が始まっています。障害者の社会参画に繋げる農福連携の一環で、福祉施設「NPO法人アルクス」の利用者に作業委託しており、蒸したサツマイモ「紅はるか」の皮むきやスライス、乾燥機に並べる作業を午前・午後2時間ずつ実施。週に1度、約90～100kgのサツマイモを干し芋に加工しています。

干し芋は、同JA産直店舗「幸田憩の農園」「ふれあいドーム岡崎」「道の駅藤川宿」「おかざき農遊館」で販売しています。



▲NPO法人アルクスの利用者が干し芋へ加工

おかざき幸田さつまいも☆プロジェクト 概要

遊休農地の荒廃防止や食料生産向上、地域農業を守るために令和3年12月に発足。環境負荷低減を目的に生分解性マルチを使用するなどSDGs達成にも取り組んでいます。農地を活用して欲しいとの問い合わせも増えており、令和10年までに約5割の栽培面積増加を目指します。

おかざき幸田さつまいも☆プロジェクト

年間スケジュール

- 5月上旬～5月中旬 畦たて、マルチ張り
- 6月上旬～6月下旬 苗挿し
- 10月中旬～11月上中旬 サツマイモ収穫
- 10月下旬 園児とのサツマイモ収穫体験
- 1月～3月上旬

NPO法人アルクス利用者と干し芋加工

取材対応

取材対応につきましては、2月末までの希望日に対応させていただきます。お電話いただく際に、希望日時をお伝えください。

(生産者の都合により、希望日にご対応できない場合がございます。)

第2、第3希望も伺えましたら幸いです。)



▲プロジェクトのメンバー

<お問い合わせ> ※取材にお越しいただける際は、事前にご連絡ください。

J Aあいち三河 総合企画部 企画広報課 (担当：岡田)

T E L : 0564-55-3034 / 070-2236-0783 E-mail : kouhou@ja-aichimikawa.or.jp

※この情報は、JAグループ愛知記者会、岡崎市政記者クラブにおいてプレスリリースしています。